

いわきの縁を創造する

～ presented by souzoukuukan ～

Vol 4 いわき信用組合

いわき市内に16店舗を構え、いわき市民の日常には欠かすことができない、地域に根差した金融機関のいわき信用組合様。市民のみならず、市内で活躍中の多くの企業も支えられています。いわきの復興にも継続的に取り組み、職員の方が地域の奉仕活動を展開していることでも有名です。「いわきの縁（ゆかり）を創造する」第四弾は、いわき信用組合様にお話をお伺いさせていただきました。



本店外観



江尻 次郎 理事長

Q1 御組合のご紹介をお願いします。

当組合は、昭和23年市街地信用組合法に基づき「江名町信用組合」として誕生し、昭和41年いわき市発足を前に「いわき信用組合」へ改称、現在に至っております。経営理念に「地域社会への貢献」、「豊かな創造力の発揮」、「働く喜びのある職場づくり」を掲げ、いわき市・相双地区を営業地区として全16店舗をネットワークで結んでおります。「お客様の顔が見える」きめ細やかなより良いサービスの提供に努め、多様化するお客様のニーズにお応えできるよう様々な金融商品を取り揃え、相互扶助を基本理念に地域と共に歩む協同組織金融機関です。

Q2 御組合が取り組まれているCSR（企業の社会的責任）活動を教えてください。

「いわき信用組合奨学金」を設立し、地元次世代を担う人材育成の支援に取り組んでおります。一方、店舗の営業区域内の高齢者世帯へは、毎月一回程度訪問活動を行い、「元気で過ごされているか」、「困りごとはないか」等の声掛けを行い、心身の健康管理を側面より支援する「あんしんふれ愛訪問活動」を通じて、高齢者が安全で安心な生活が送れる地域環境の構築に取り組んでおります。又、「ボランティア休暇制度」を設けて、様々な地域ボランティア活動にも役職員が積極的に参加しております。

Q3 私たちは御組合が主催している「うるしの実クラブ」で様々な企業の皆様とつながりを持つことができました。うるしの実クラブの概要、開催意図、今後のご展望などを教えてください。

平成10年、当組合50周年を契機に低成長下の日本経済にあって厳しさの増す地域企業が、異業種間のネットワークを活かして当組合も含め互いに知恵を出し合い激動の時代を乗り切る目的で発足した経営者交流会です。『うるしの実クラブ』の名称は、作家藤沢周平氏が第10代米沢藩主「上杉鷹山」を描いた作品『漆の実のみのる国』より引用したものです。会員相互間の交流により、新規顧客開拓や販路拡大、新規事業の創設などさまざまな地域企業をバックアップしております。会員企業は平成26年10月末現在580社に上りビジネスマッチング交流会、情報交換会、文化講演会、視察研修旅行等交流会やイベントを開催しております。その中で、特にビジネスマッチング交流会では、数多くの商談が成立し着実に実績をあげております。今後におきましては、全国に広がる信用組合のネットワークを活用し、市内だけでなく市外・県外で開催されるビジネスマッチングをはじめとした様々なイベント情報を会員企業に提供し、新たな機会を成長へ結実させていけるよう取り組んで参ります。

Q4 御組合には私たちの施設製品をうるしの実クラブを通じて知っていただき、ご採用いただくことになりました。そこから派生するお仕事を、当施設利用者は大変楽しみにしております。そのことにつきまして、ご感想をお聞かせください。

「エル・ファロ」さんが運営する「創造空間」でお仕事されている皆さんが、当組合からの発注を楽しみに、そして喜んで頂けていることを聞いて大変嬉しく思っております。うるしの実クラブ主催のビジネスマッチング交流会で施設製品を知った時に、現在使用しているものと品質は変わらないうえに環境保護にも配慮された製品で、何より障害をお持ちになりながら自立した生活が出来るよう頑張っている皆さんのご支援が出来ることが、当組合にとっては正にビジネスマッチングでした。これからも施設利用者の皆さんを微力ではありますがご支援させて頂きたいと思っておりますので、宜しく願い致します。

Q5 御組合はいわきの復興に大きく貢献されておりますが、今後いわきにはどのような街になってもらいたい、ご意見をお聞かせください。

いわき市は、震災からの復興に向け活発な動きが見られる一方、農業・漁業を始め、観光業など風評被害を未だ払拭出来ない状況にあります。そのような中、震災後の原発廃炉に係わる企業進出や人口流入、原発に代わる新たなエネルギー関連施設や医療機関建設など、それらがもたらす雇用創出は地域活性化に繋がる期待もあり、当組合は地域のリーディング企業として復興・再生、更には発展に向け金融面からサポートし、いわき市が震災・原発事故からの復興拠点となり、地域の方々が笑顔で生活し、将来を担う子供たちが夢と希望を持てる魅力ある、活気のある街になってもらいたいと思います。

貴重なお話を聞かせていただき有難うございました。 今後とも、宜しくお願いいたします。

いわき信用組合

福島県いわき市小名浜花畑町 2 番地の 5

TEL. 0246 (92) 4111

[＜ホームページはこちら＞](#)

(取材：関 茂樹)